

神奈川県 商工会地区

中小企業景況調査報告書

—令和7年7月～9月期 実績—
—令和7年10月～12月期 見通し—



神奈川県商工会連合会

中 小 企 業 景 況 調 査(令和7年7月～9月期)

◇調査概要

1. 調査目的

商工会地区内の地域産業の状況、経済動向等について一定期間ごとに変化の実態や諸事情を把握し、経営改善普及事業の効果的实施を図る。

2. 調査対象

(1)対象地区

10商工会地区

(葉山町・伊勢原市・大磯町・湯河原町・座間市・愛甲・南足柄市・足柄上・城山・相模湖)

(2)対象企業数

150企業

(3)回答企業数

150企業(回答率100.0%)

3. 調査対象期間

令和7年7月～9月期(調査時点 令和7年9月1日)

4. 調査方法

(1)商工会の経営指導員による訪問面接調査

(2)調査対象地区の決定は、商工会地区市町村の人口規模別実態を勘案し、調査対象企業の抽出は、業種、規模等有意選出法による。

5. 対象地区別回答企業数内訳

商工会名	製造業	建設業	小売業	サービス業	調査企業数
葉山町商工会	3	2	3	7	15
伊勢原市商工会	3	2	2	8	15
大磯町商工会	3	2	4	6	15
湯河原町商工会	3	2	4	6	15
座間市商工会	3	2	4	6	15
愛甲商工会	3	2	4	6	15
南足柄市商工会	3	1	6	5	15
足柄上商工会	3	3	4	5	15
城山商工会	3	2	4	6	15
相模湖商工会	1	3	3	8	15
合 計	28	21	38	63	150

6. DIとは

本報告書の中で一部数字に用いた「DI」指数とは、ディフュージョンインデックス(景気動向指数)の略で、企業経営者の景気見通しを表す指標として利用されている。

増加(上昇、好転、長期化)と減少(低下、悪化、短期化)の企業割合の差を示す。

DIがプラス(+)なら……強気(楽観)

DIがマイナス(-)なら……弱気(悲観)

(例)売上高で増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合のDI指数

DI指数…50%－20%＝30%

となり、全体としての経営者の売上に対する強気の度合いを表している。

◇業種別(中分類)企業構成

(1)製造業

業種内訳	企業数	構成比
食料品製造業	3	10.7%
飲料・飼料・たばこ製造業	0	0.0%
繊維工業	0	0.0%
衣服・その他繊維製品製造業	1	3.6%
木材・木製品製造業	1	3.6%
家具・装備品製造業	3	10.7%
パルプ・紙・紙加工品製造業	2	7.1%
印刷・同関連業	1	3.6%
化学工業	1	3.6%
プラスチック製品製造業	1	3.6%
窯業・土石製品製造業	1	3.6%
金属製品製造業	6	21.4%
一般機械器具製造業	1	3.6%
電気機械器具製造業	1	3.6%
輸送用機械器具製造業	2	7.1%
精密機械器具製造業	1	3.6%
その他製造業	3	10.7%
合 計	28	100.0%

(2)建設業

業種内訳	企業数	構成比
総合工事業	8	38.1%
職別工事業	11	52.4%
設備工事業	2	9.5%
合 計	21	100.0%

(3)小売業

業種内訳	企業数	構成比
各種商品小売業	1	2.6%
織物・衣服・身の回り品小売業	5	13.2%
飲食料品小売業	19	50.0%
自動車・自転車小売業	4	10.5%
家具・建具・じゅう器小売業	0	0.0%
その他小売業	9	23.7%
合 計	38	100.0%

(4)サービス業

業種内訳	企業数	構成比
一般飲食店(一般・遊興)	22	34.9%
宿泊業	1	1.6%
運送業	1	1.6%
自動車整備業	6	9.5%
洗濯・理美容業	21	33.3%
その他のサービス業	12	19.0%
合 計	63	100.0%

◇産業全体の景況概要

◇…猛暑や物価高等の悪材料により後退傾向となり、さらに先行きに不透明感が強い小規模企業景況…◇

神奈川県における各産業別の前年同期と比べた業況DIの推移は、【産業別 過去3年間の業況DI(前年同期比)の推移】に示すとおりである。

【業種別景況天気図】をみると、令和7年7-9月期は、製造業を除き、3業種が悪化となった。

業況判断DIは前期に比べ、建設業はマイナス3.6ptと小幅な悪化、小売業がマイナス5.7pt、サービス業が11 pt超の大幅な悪化となった。

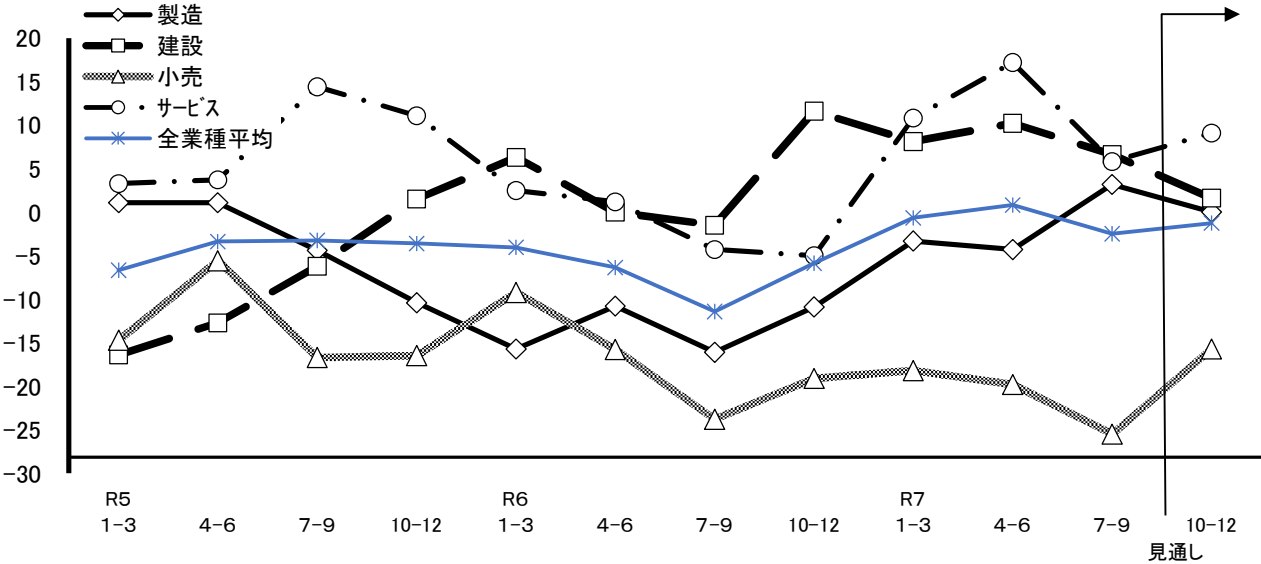
一方、製造業は7.5ptと大幅な改善となった。

全業種平均では、前期0.8ptからマイナスと2.5ptとほぼ一年ぶりの悪化となった。

一部の業種では、季節需要や受注の増加により売り上げが好転している。

しかし、猛暑による外出控えや、原材料価格や人件費の上昇、また人手不足や社会保険料の負担の増加等が景気下押しの要因となっている。また、今後の改善は不透明なことから、先行きを懸念する声が目立った。

産業別 過去3年間の業況DI(前年同期比)の推移
(令和5年1-3月期～令和7年7-9月期)



業種別景況天気図

	製造業 28 企業		建設業 21 企業		小売業 38 企業		サービス業 63 企業		全業種 平均
	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図	DI
R6/10-12	△ 10.9		11.6		△ 19.1		△ 5.0		△ 5.9
R7/1-3	△ 3.3		8.1		△ 18.2		10.8		△ 0.7
R7/4-6	△ 4.3		10.2		△ 19.8		17.2		0.8
R7/7-9	3.2		6.6		△ 25.5		5.8		△ 2.5
R7/10-12 (見通し)	0.0		1.6		△ 15.7		9.1		△ 1.3

DI: 30.1～.....

DI: 10.1～30.0.....

DI: 10.0～△10.0...

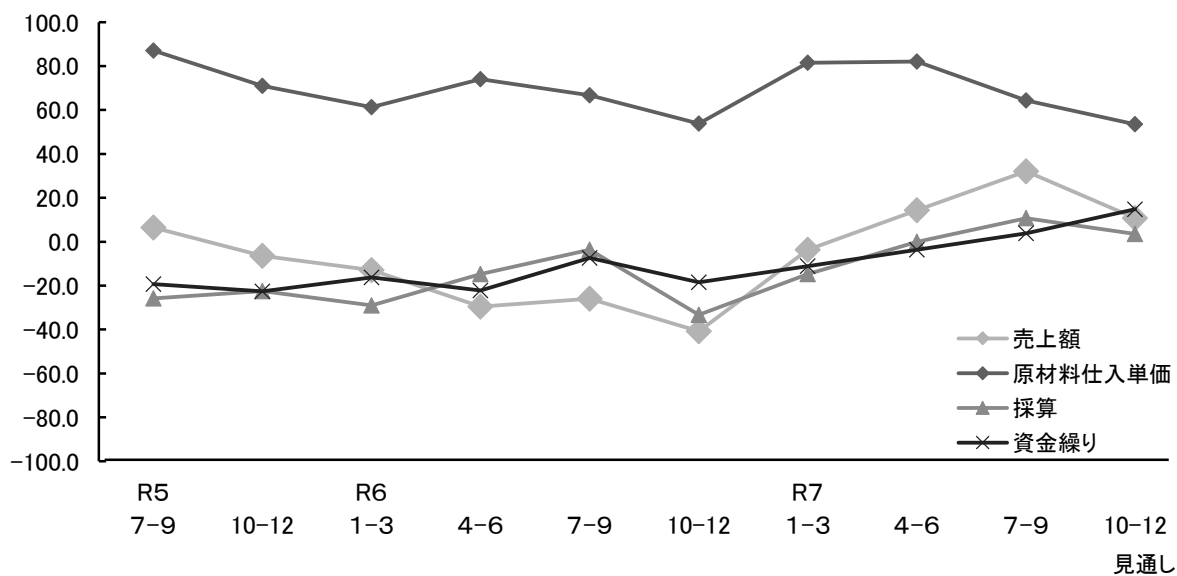
DI: △10.1～△30.0

DI: △30.1～.....

◇業種別景況概

I 製造業

主要景況項目の推移—前年同期比—

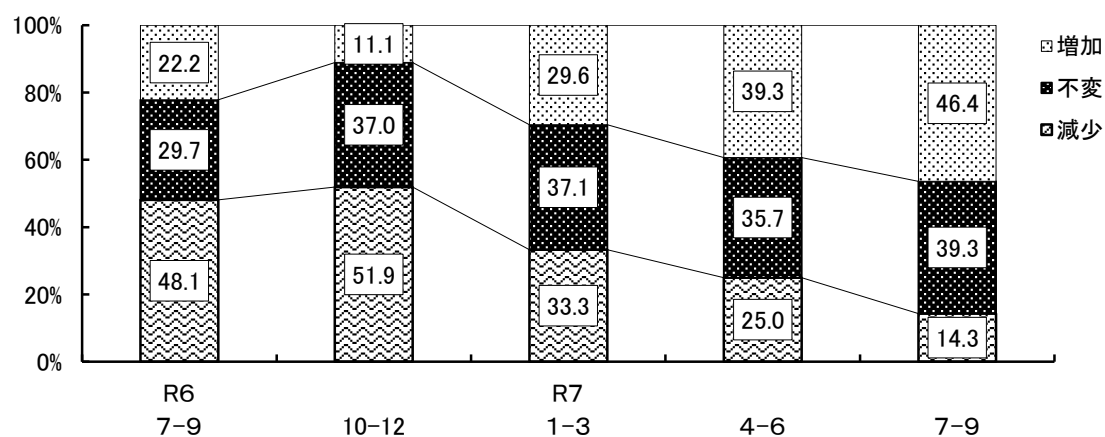


主要項目の天気図

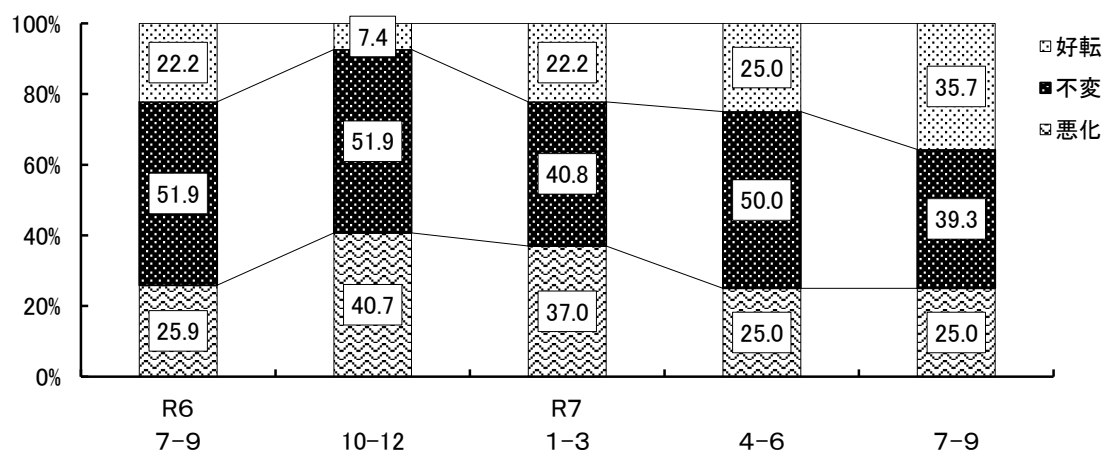
	売 上 額		採 算		資金繰り		業 況	
	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図
R6/10-12	△ 40.8		△ 33.3		△ 18.5		△ 10.9	
R7/1-3	△ 3.7		△ 14.8		△ 11.1		△ 3.3	
R7/4-6	14.3		0.0		△ 3.6		△ 4.3	
R7/7-9	32.1		10.7		3.8		3.2	
R7/10-12 (見通し)	10.7		3.6		14.8		0.0	

DI: 30.1～.....
 DI: 10.1～30.0.....
 DI: 10.0～△10.0...
 DI: △10.1～△30.0...
 DI: △30.1～.....

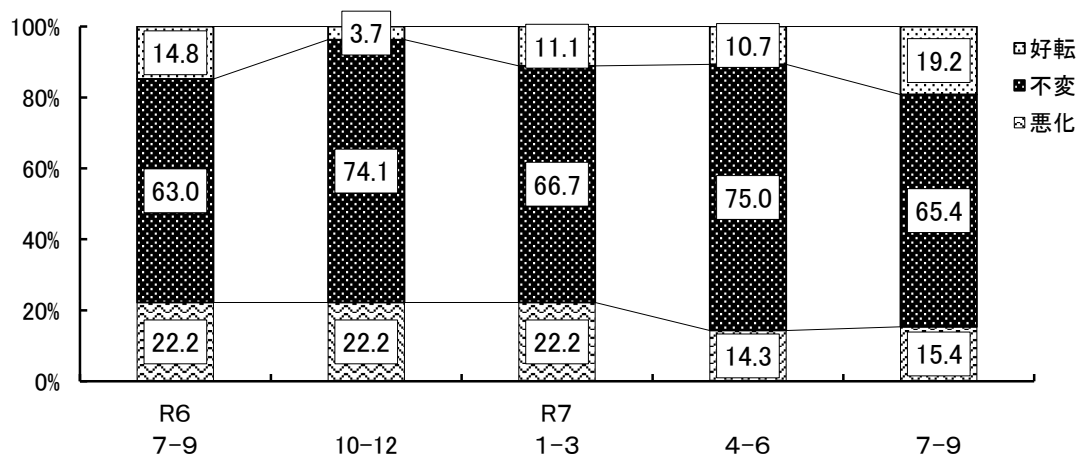
① 売上額の状況－前年同期比－



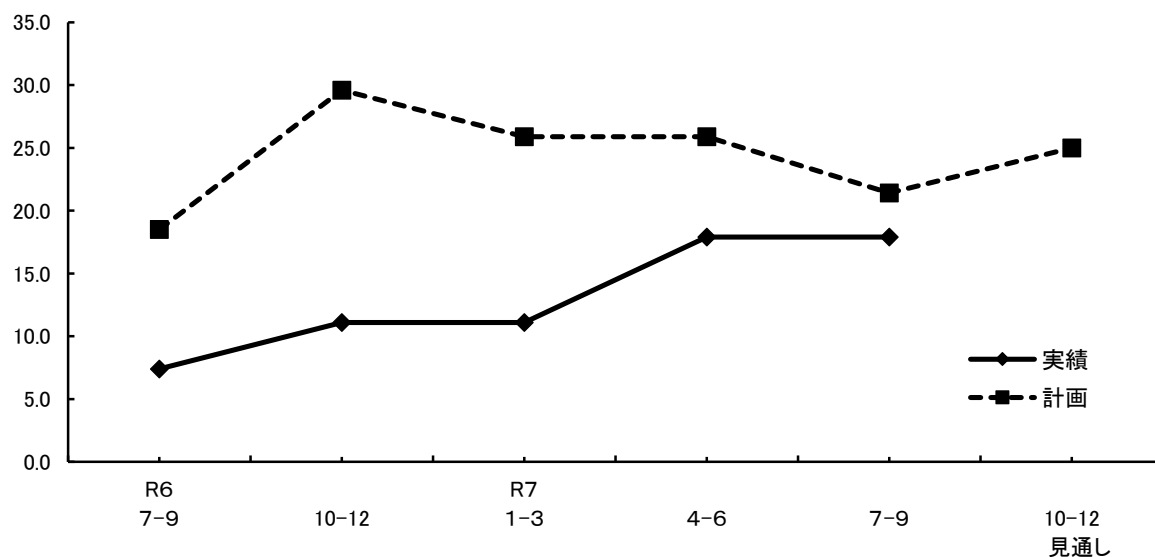
② 採算の状況－前年同期比－



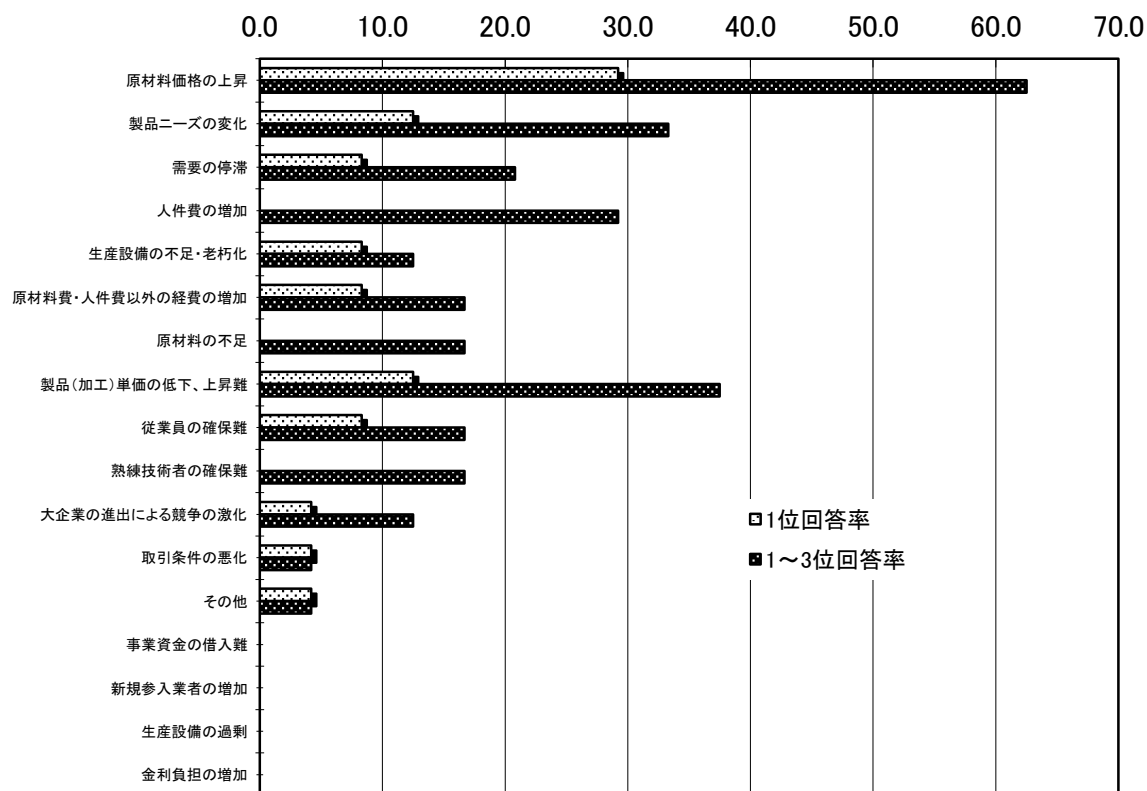
③ 資金繰りの状況－前年同期比



④設備投資の状況

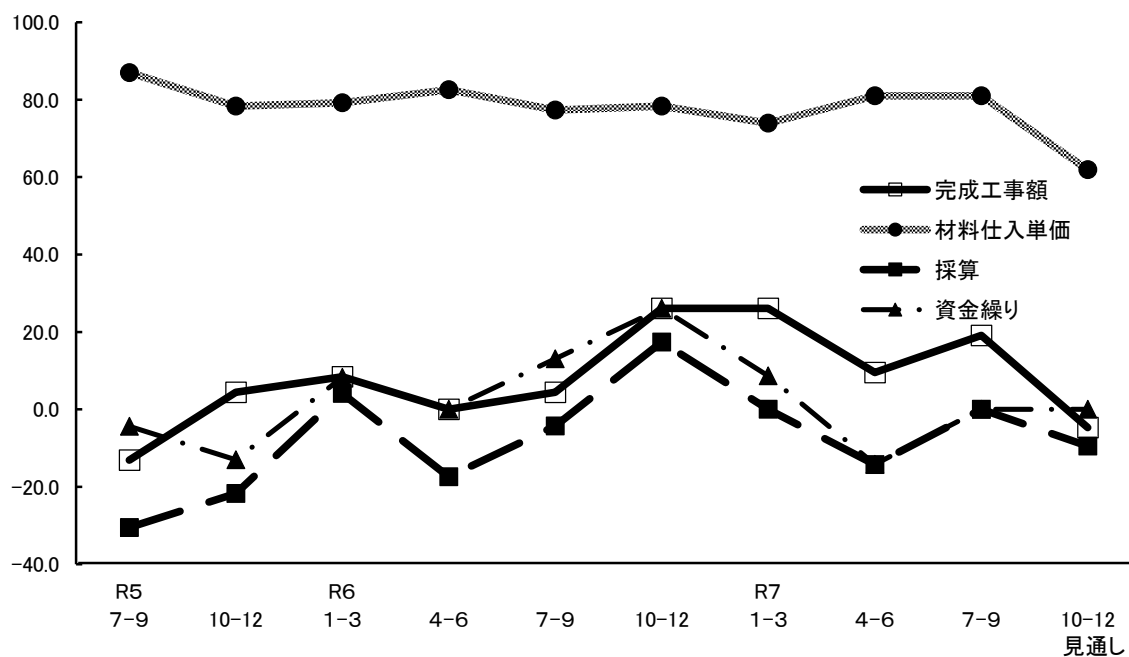


⑤経営上の問題点 企業が選んだ経営上の問題点は示すとおり。 経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



Ⅱ 建設業

主要景況項目の推移—前年同期比—



主要項目の天気図

	完成工事額		採 算		資金繰り		業 況	
	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図
R6/10-12	26.1		17.4		26.1		11.6	
R7/1-3	26.1		0.0		8.7		8.1	
R7/4-6	9.5		△ 14.3		△ 14.2		10.2	
R7/7-9	19.1		0.0		0.0		6.6	
R7/10-12 (見通し)	△ 4.7		△ 9.5		0.0		1.6	

DI: 30.1~.....

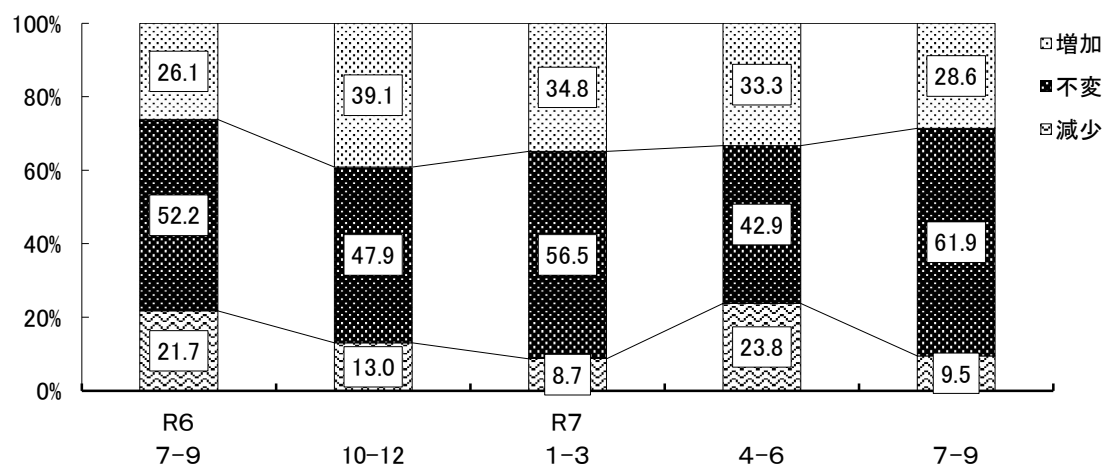
DI: 10.1~30.0.....

DI: 10.0~△10.0...

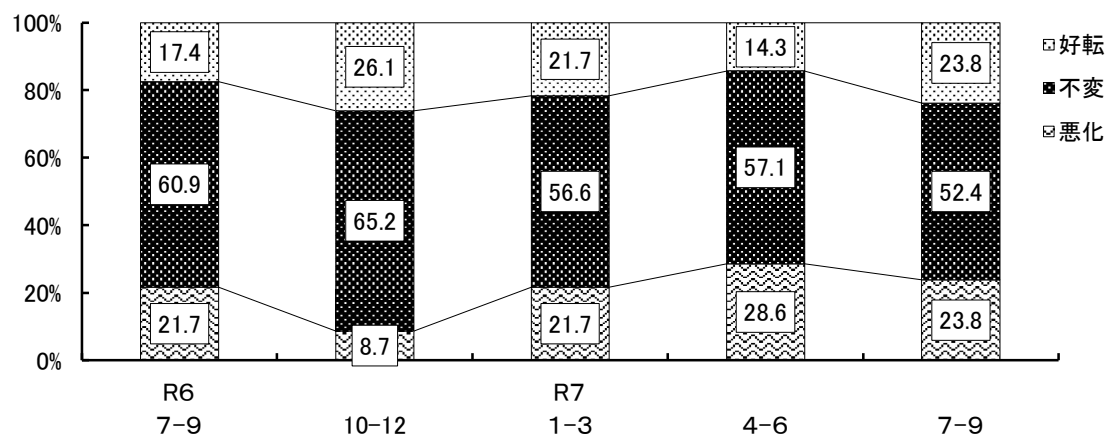
DI: △10.1~△30.0

DI: △30.1~.....

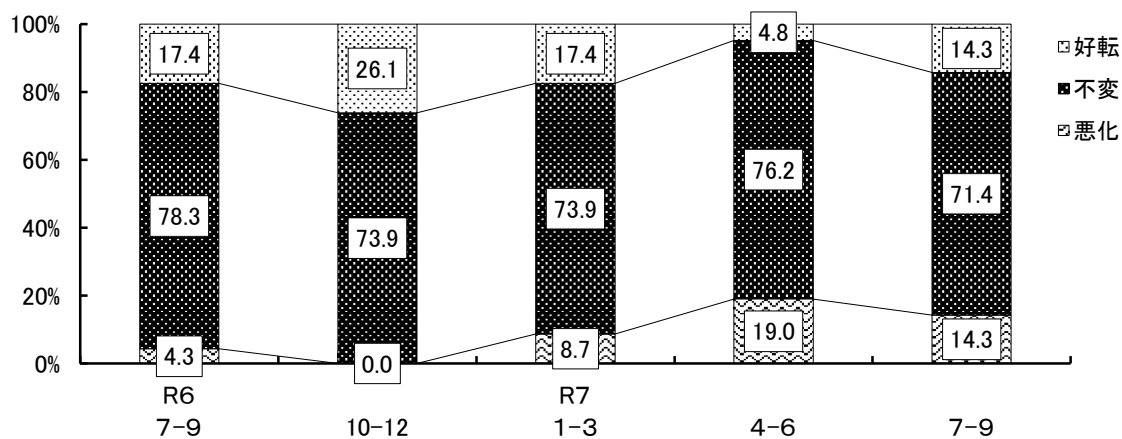
①完成工事額の状況－前年同期比－



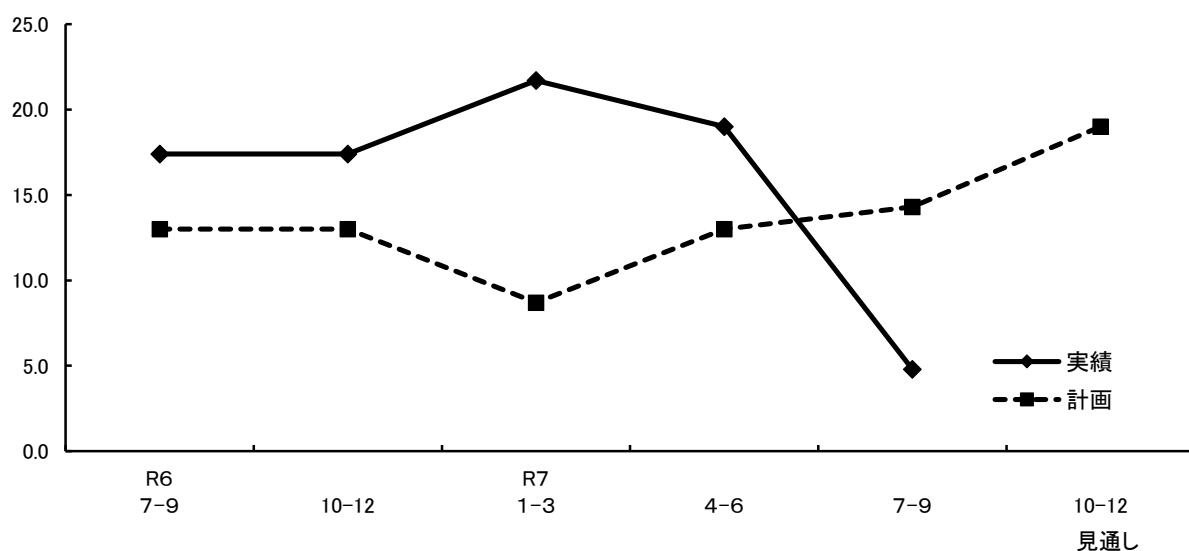
②採算の状況－前年同期比－



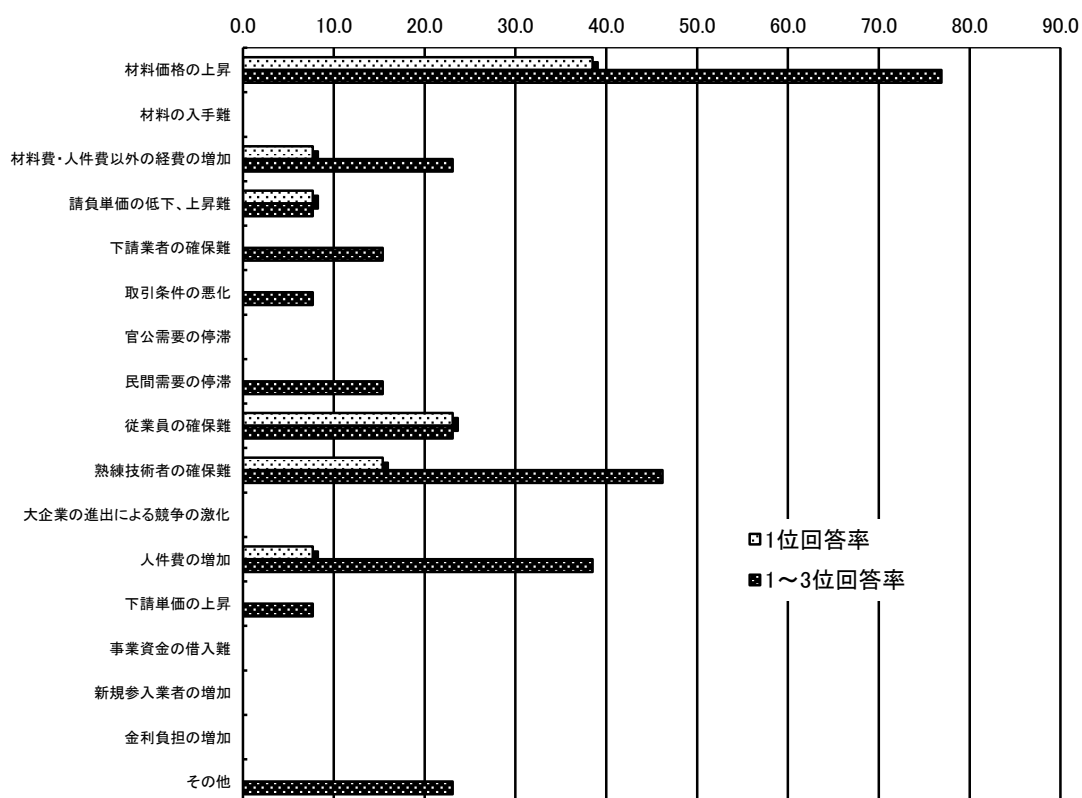
③ 資金繰りの状況－前年同期比－



④設備投資の状況

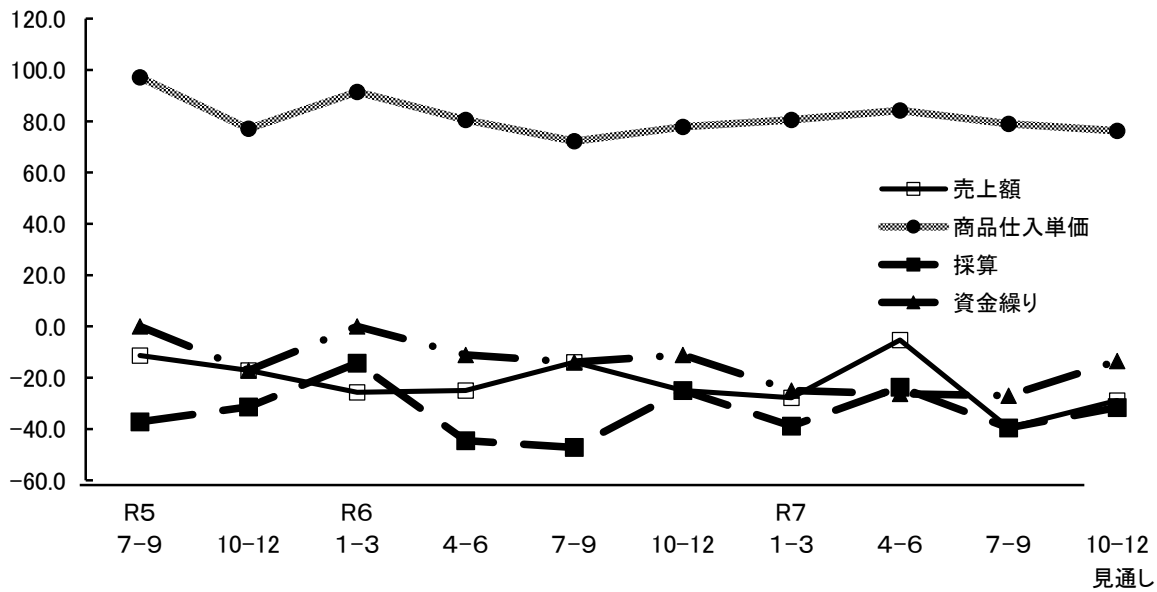


⑤経営上の問題点 企業が選んだ経営上の問題点は示すとおり。 経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）



Ⅲ小売業

主要景況項目の推移－前年同期比－

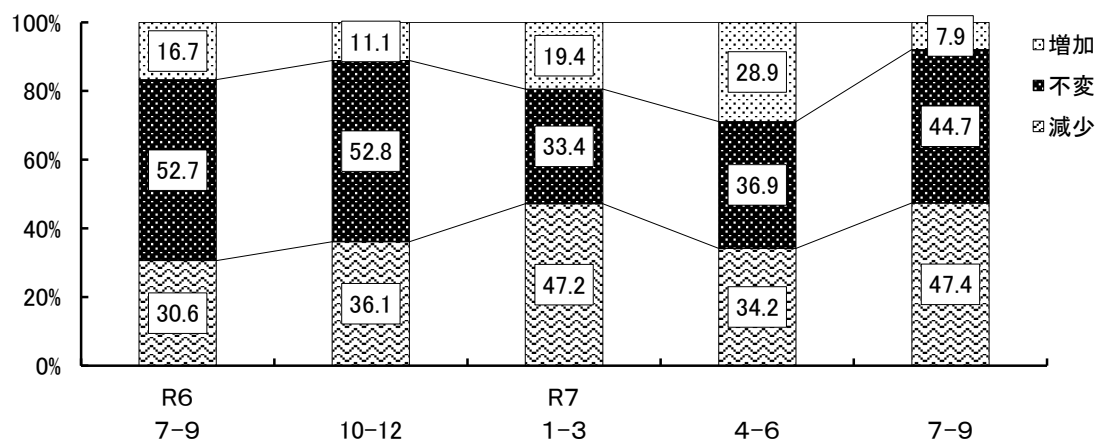


主要項目の天気図

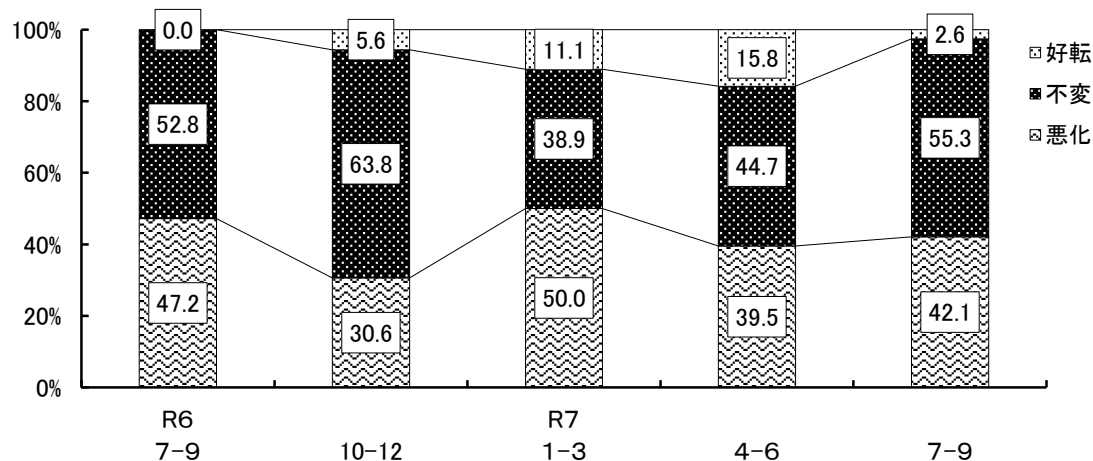
	売上額		採 算		資金繰り		業 況	
	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図
R6/10-12	△ 25.0		△ 25.0		△ 11.1		△ 19.1	
R7/1-3	△ 27.8		△ 38.9		△ 25.0		△ 18.2	
R7/4-6	△ 5.3		△ 23.7		△ 26.3		△ 19.8	
R7/7-9	△ 39.5		△ 39.5		△ 27.0		△ 25.5	
R7/10-12 (見通し)	△ 28.9		△ 31.6		△ 13.5		△ 15.7	

DI: 30.1～.....
 DI: 10.1～30.0.....
 DI: 10.0～△10.0...
 DI: △10.1～△30.0
 DI: △30.1～.....

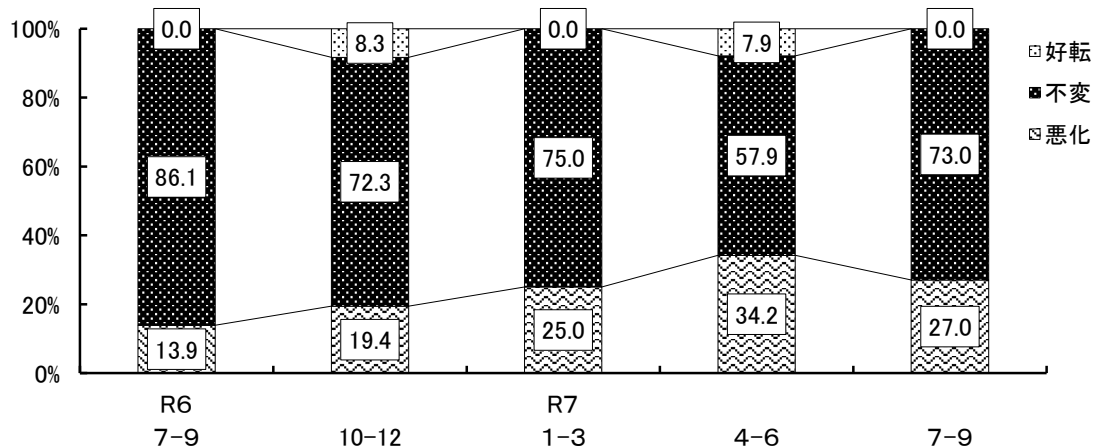
①売上額の状況－前年同期比－



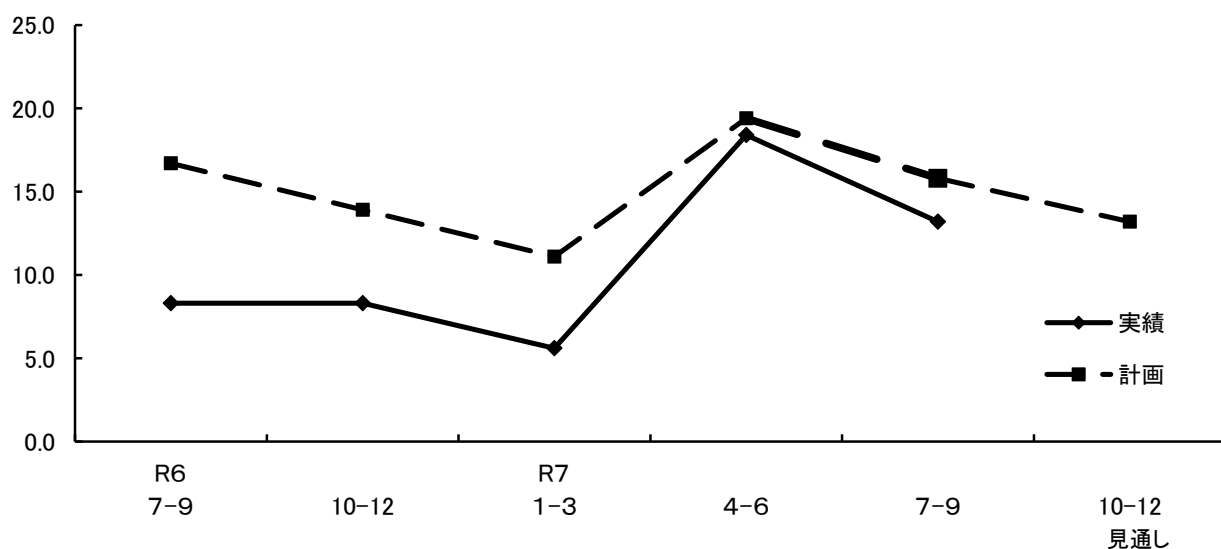
②採算の状況－前年同期比－



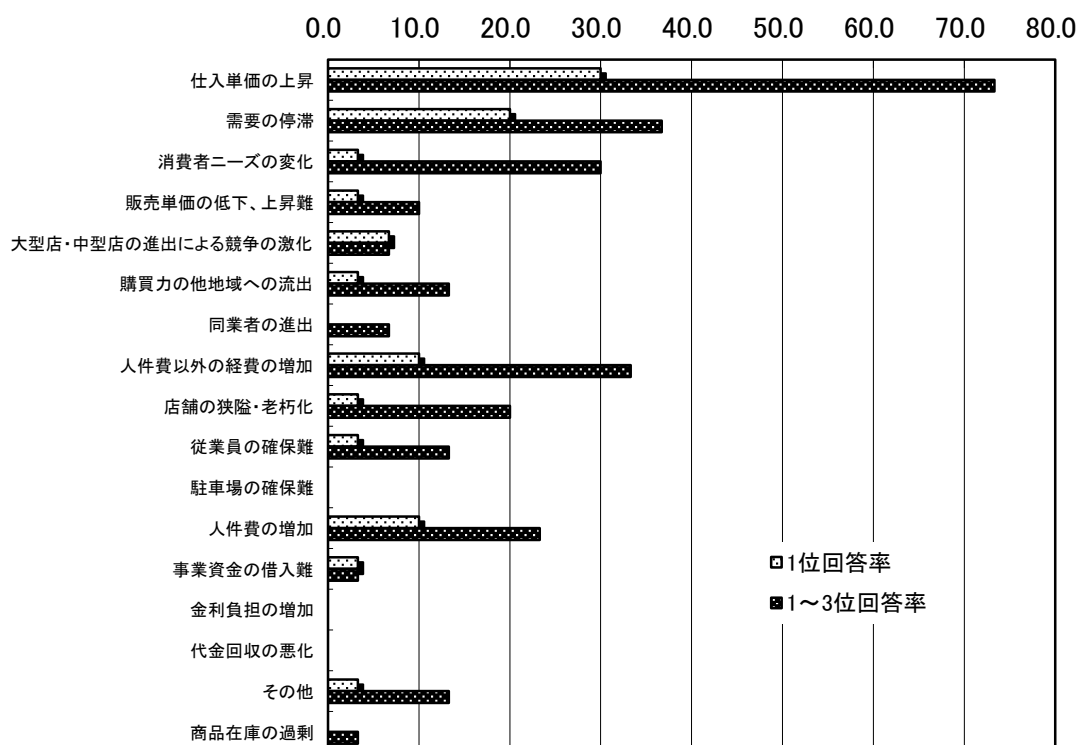
③資金繰りの状況－前年同期比－



④設備投資の状況

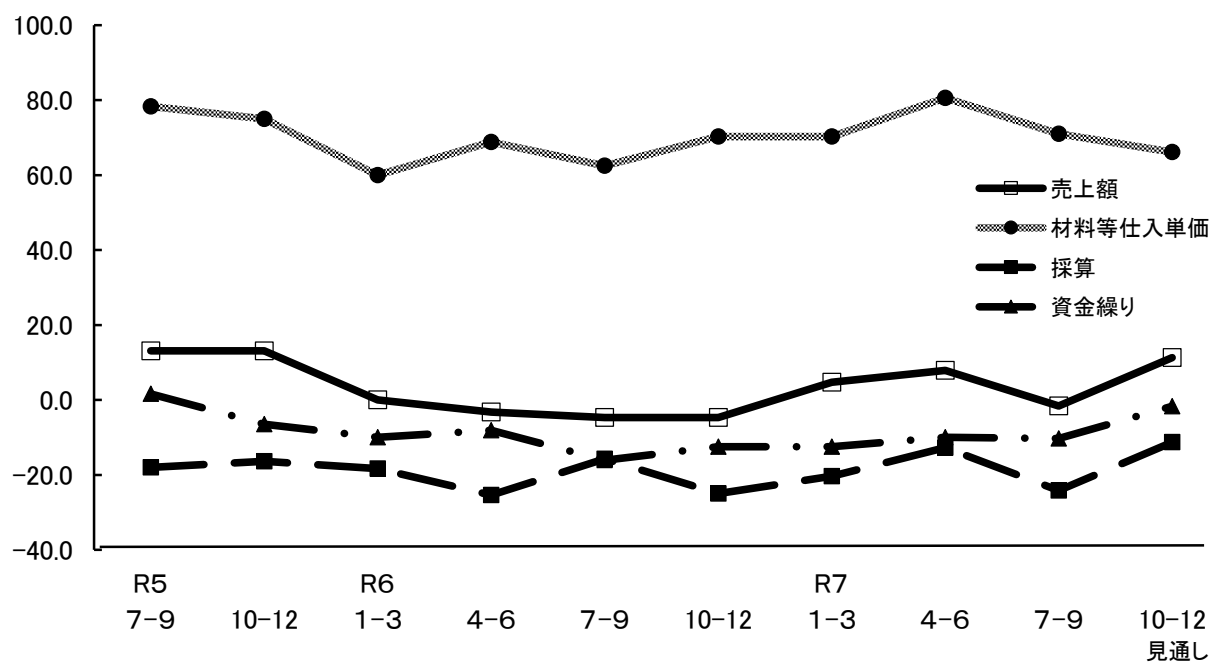


⑤経営上の問題点 企業が選んだ経営上の問題点は示すとおり。 経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



IVサービス業

主要景況項目の推移－前年同期比－



主要項目の天気図

	売上額		採 算		資金繰り		業 況	
	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図	DI	天気図
R6/10-12	△ 4.7		△ 25.0		△ 12.5		△ 5.0	
R7/1-3	4.7		△ 20.4		△ 12.5		10.8	
R7/4-6	7.9		△ 12.7		△ 10.0		17.2	
R7/7-9	△ 1.6		△ 24.2		△ 10.3		5.8	
R7/10-12 (見通し)	11.3		△ 11.3		△ 1.7		9.1	

DI: 30.1～.....

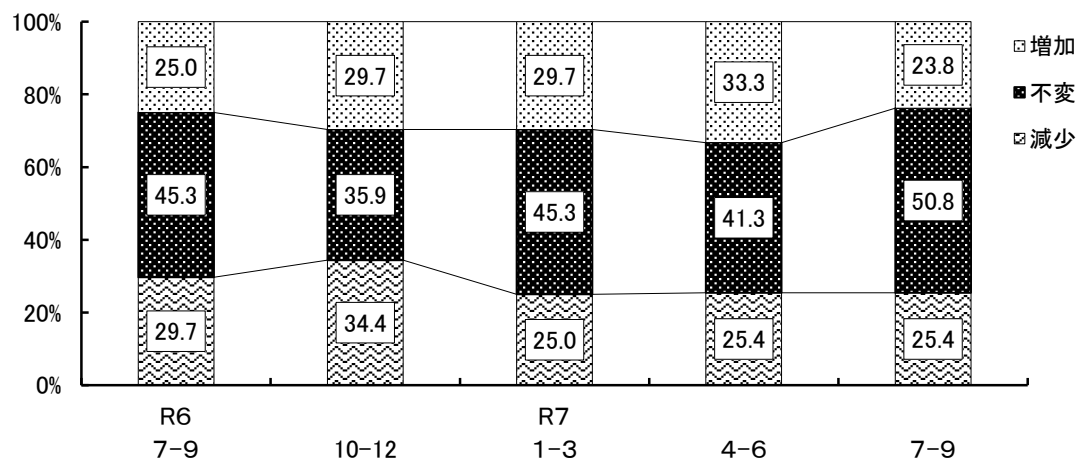
DI: 10.1～30.0.....

DI: 10.0～△10.0...

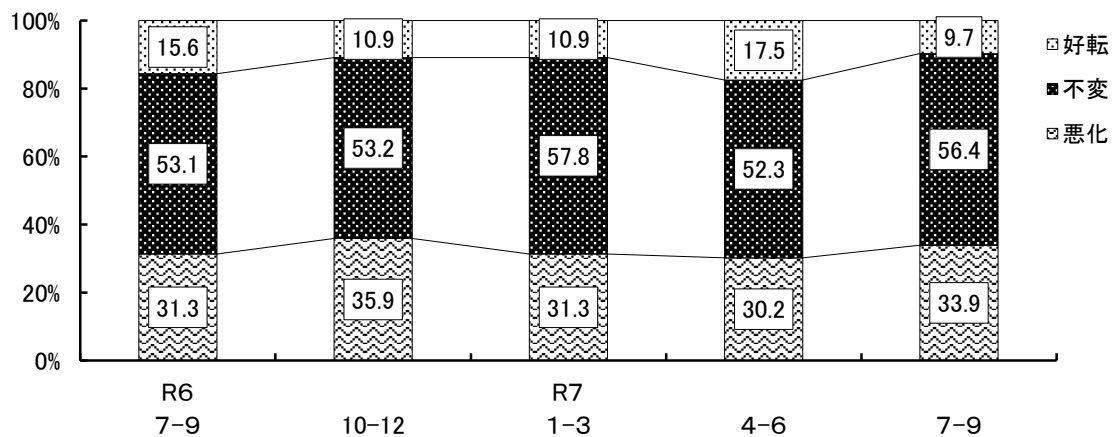
DI: △10.1～△30.0•

DI: △30.1～.....

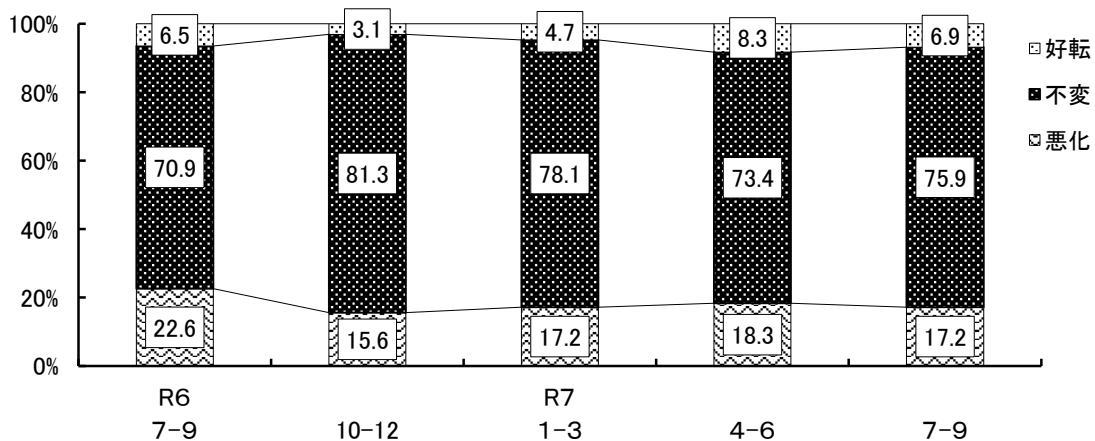
①売上額の状況－前年同期比－



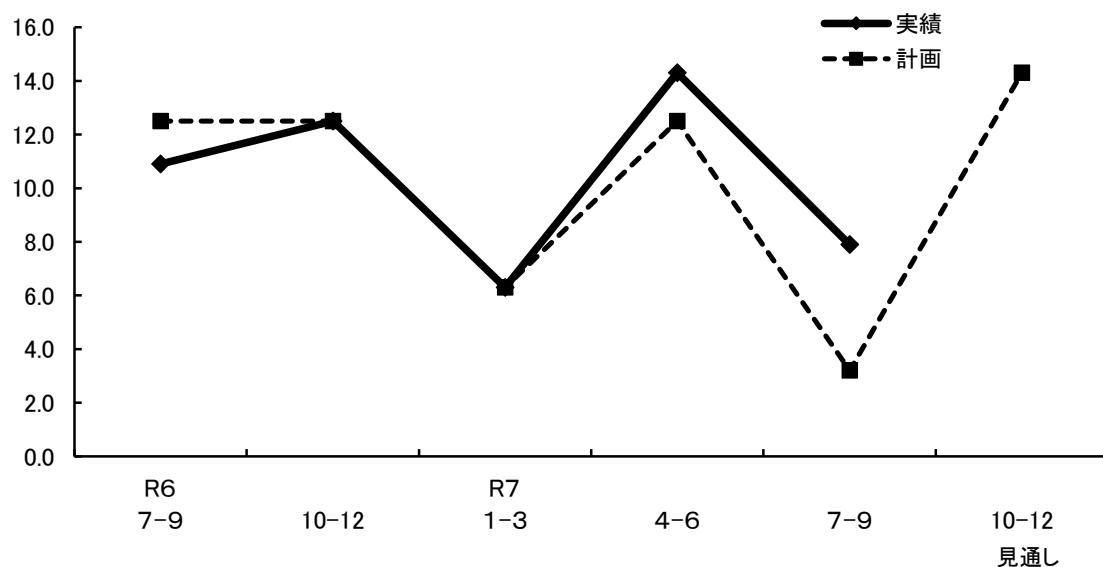
②採算の状況－前年同期比－



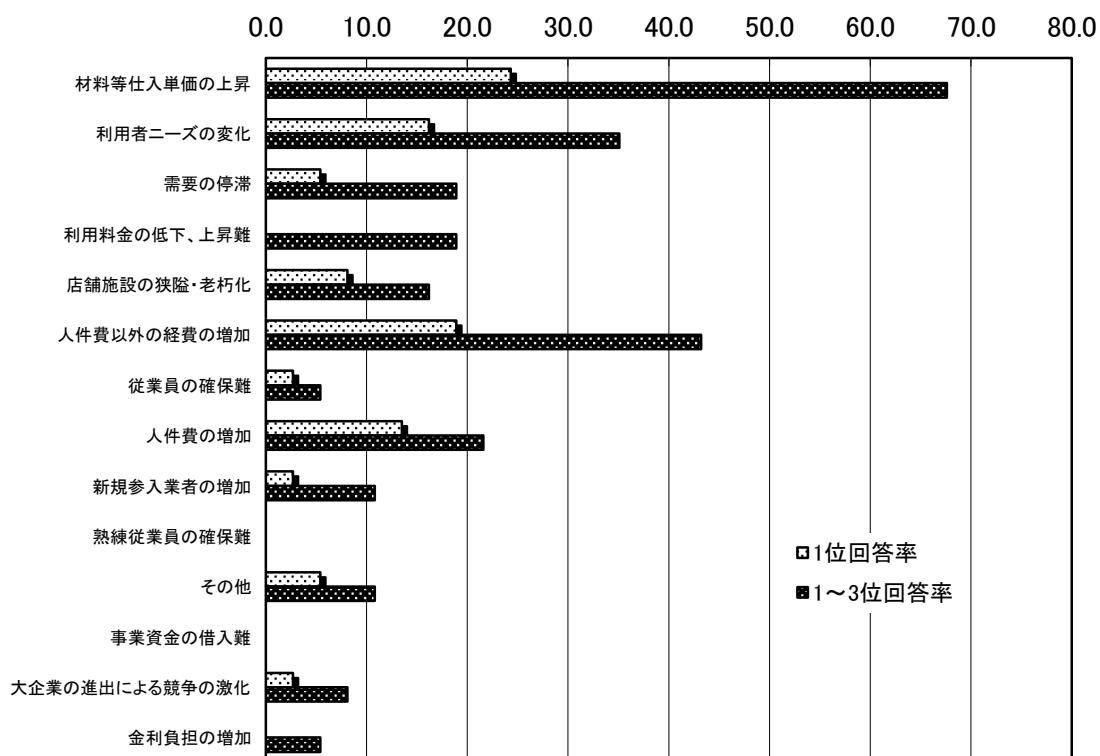
③資金繰りの状況－前年同期比－



④設備投資の状況



⑤経営上の問題点 企業が選んだ経営上の問題点は示すとおり。 経営上の問題点の状況(1位と1位～3位)



景況判断の背景

製造業

- ◇ 原料の値上げが続くことで、お客様が商品へ価格転嫁せざるを得ない状況を理解し、来店して頂けるかとも不安に感じる。
【食料品製造業】
- ◇ 人材確保が難しい。
【木材・木製品製造業(家具を除く)】
- ◇ 7月から「道の駅湘南ちがさき」の棚に、広く置けるようになり非常に好調である。また店舗の飲食提供も評判が良く企画した夏のイベントも好評に終わった。引き続き自社の価値提供と導線づくりに注力して行きたい。
【食料品製造業】
- ◇ 個人需要が停滞する中、技術力の高さと勝負し、同業他社からの引き合いが多くなったため、業況はよい。
【その他の製造業】
- ◇ トランプ関税に一喜一憂している感があり業界として様子見に走っていて需要は停滞している。最近は採算が合わない国内メーカーの海外引き上げ案件が国内に回ってきているといい長期的に見て不安でしかない。
【電子部品・デバイス・電子回路製造業】
- ◇ 大型の品物の受注が増えたが、工場の規模により生産ができないことがある。
【金属製品製造業】
- ◇ 自動車関連部品の生産調整や減少などが受注に直接響くため先行きが不安。
【パルプ・紙・紙加工品製造業】
- ◇ 人件費の増加、物価上昇を売値に反映しづらいと感じている。
【生産用機械器具製造業】
- ◇ とにかく景気が悪すぎる。せっかつつながった仕事もすぐになくなる。とてもつらい。
【窯業・土石製品製造業】

建設業

- ◇ 材料単価が上がっているのに材工単価(施工価格)が上げられない。エンドユーザーの資金、借入金が少ない。
【職別工事業(設備工事業を除く)】
- ◇ 外国人労働者を日本に入れ、若者達は稼げない為、建築業界から離れている。このままだと熟練工はいなくなり、工場生産の建築ばかりになり、しっかりした修繕リフォーム等が行えなくなると感じている。
【総合工事業】
- ◇ 職人、下請業者の確保が大変
【総合工事業】
- ◇ 資材の高騰が続く受注も減少傾向にある。またコロナのようなダメージがあったらやっていけない。
【総合工事業】
- ◇ 建築基準法が変わり行政の許認可が遅くなったこともあり、業界全体が低迷。当社も荒波にもまれている。
【総合工事業】
- ◇ 公共工事の受注が不透明であるため不安要素がある。
【総合工事業】
- ◇ インボイス制度を廃止してほしい。
【職別工事業(設備工事業を除く)】

小売業

- ◇ 物価は上昇、実質賃金は上がらない状況で嗜好品にまでお金が回らないように思われます。相変わらず財布のひもは固いようです。更に原材料の高騰は続いております。期待できることがありません。
【飲食料品小売業】
- ◇ 顧客が大型店へ流入していまい、売上は減少している。仕入れ単価の上昇により利益も減少し、業況的には厳しくなっている。
【機械器具小売業】
- ◇ 物価上昇により、利益をだすことが難しく、社会保障の負担も重く感じられる。その中で、変化に適応し、新しいやり方を模索し、取り組むことで、業績の改善をしていきたいと思う。
【その他の小売業】
- ◇ 本業の他に軸となる収入を確保する
【その他の小売業】
- ◇ コロナの終息以来お客様のニーズの変化で常連客の足が遠ざかる感じ
【飲食料品小売業】
- ◇ 売上減少の中、人件費の増加、仕入単価の上昇など先行きは不安な状況です
【飲食料品小売業】
- ◇ 猛暑の影響で昼間、来店されない。
【飲食料品小売業】
- ◇ 体調に合わせて少しペースを緩めているためか、そこまで業況が悪いとは捉えておらず、想定範囲で推移している。
【飲食料品小売業】
- ◇ 在庫台数が安定しており、業況は良いとまで言い切れないものの、良い方向で推移している。
【機械器具小売業】
- ◇ 年配のお客様が主要顧客となるため、商品自体の単価の上昇が大きく響き、客単価が下がってしまっている。幸い、継続して事業を行っていることで、お客様が増えており、どうにか補えているというのが現状である。
【飲食料品小売業】
- ◇ 地域の夏祭りや自治会の納涼祭・ゴルフ大会と声が多くこの期は例年良くなる。規模は小さいながらも新しいお祭りの開催が複数あり地域にとってもこれからも続いて行けばと思う。
【飲食料品小売業】
- ◇ ここ最近、断捨離する方が増えているようで、購入するより販売希望の方が多くなっている。また、購入についても、本当に必要としている物以外は購入しないという傾向があり、売り上げは伸び悩んでいる。
【繊維物・衣服・身の回り品小売業】
- ◇ 社会保険料や時給がどんどん上げられ、経営圧迫している
【各種商品小売業】
- ◇ 収入減、行動減少からの需要停滞
【機械器具小売業】
- ◇ 色々、老朽化して、変えなければならないが、資金がない。
【その他の小売業】

サービス業

- ◇ お客様が男性で既婚者は節約の傾向がある。単価が下がるお客様流動性は小さいので大きな変化は少ないが大きく上向くこともない。
【洗濯・理容・美容・浴場業】
- ◇ 仕入価格やその他の経費高騰に伴い、価格の改定を行った為、多少は業況的にはよくなったが、さまざまな高騰に追いついていない。
【飲食店】
- ◇ 材料費の高騰が続いており利益の幅が少ない。
【飲食店】
- ◇ 昨年6月に料金を値上げし、カード払い(キャッシュレス)を可能にした事により、多少のお客様の変動がありました。
【洗濯・理容・美容・浴場業】

- ◇ 物価上昇が止まらず、売上は増加しても経常利益がマイナスであり、経営状況は改善されない
【飲食店】
- ◇ 材料費上昇には大変困っています。お米も、、
【飲食店】
- ◇ 物価高騰が若干響いてはいるものの、特に大きな影響は出ていなく、業況は前年までとほぼ変わらない
感じです。
【道路旅客運送業】
- ◇ 前年度末に家賃が安い所に移転。業況は変わらず上向いてはいないが、固定費が下がったため経営全
体としてみると好転した。
【洗濯・理容・美容・浴場業】
- ◇ 人材不足やハード面の課題はありつつも新事業が形になってきており、このまま良い循環に繋がればと
思う。また今年は連日の猛暑での熱中症リスクと雨天対応等、天候リスクと収益の両立が非常に難しい。
【その他の教育、学習支援業】
- ◇ 不景気からか、若干客足が鈍っていると感じている。
【その他の生活関連サービス業】
- ◇ 物価上昇で利益がなかなか上がらない
【飲食店】
- ◇ 顧客の高齢化による減少、自身の高齢化によって、長時間働くことが難しくなっている
【洗濯・理容・美容・浴場業】
- ◇ 物価高騰による仕入れ、光熱費の上昇で利益が出ない中、キャッシュレスによる支払対応ができなく、来
客数が減少している。仕入のほとんどが現金払いなので、カード等の手数料までは資金が回らず、対応
ができない。
【飲食店】
- ◇ SNS運用の検索で上位にあがってこなかったのを調べたら、ハッシュタグが多いとスパム扱いに認識さ
れ、新規顧客が獲得できにくい状況であった。ハッシュタグを編集する作業が大変。早くに気づいてよかつ
た。
【洗濯・理容・美容・浴場業】
- ◇ 単価が上がったため、サブスク化できた。
【専門サービス業(他に分類されないもの)】
- ◇ 物価高騰による中古市場の需要増加で仕事量が微増する反面、大手ディーラー等の囲い込みによって
トータルは変わらない見込み。
【自動車整備業】
- ◇ 早めに価格を上げる対応をしたが、賃上げや物価高騰が追い付いてしまった。どのような付加価値を付
け、これ以上価格を上げるか、再考する必要がある。
【飲食店】
- ◇ 高齢化により、毎日働くことが出来ない。仕入れが高い。
【飲食店】